



11月給食だより

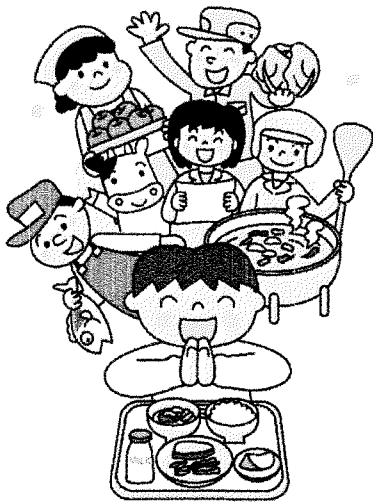


令和6年度 11月号
調布市立調和小学校
校長 武田美穂子

11月の給食目標 感謝して食べよう

食べることは、生き物の命をいただき、命をつないでいくことです。また、食事ができあがるまでに料理を作る人をはじめ、農作物や家畜を育てる人、魚をとる人、食材を運ぶ人、販売をする人など、たくさんの方が関わっています。感謝の気持ちを忘れずに心を込めて挨拶し、食事を大切にいただきますよう。

日本では、食事の前に「いただきます」、食べ終わったら「ごちそうさま」の挨拶をする習慣があります。それぞれどのような意味があるのでしょうか。



いただきます

「いただく（頂く/戴く）」は、頭にのせるという意味があり、身分の高い人から物をもらう際、頭上に捧げて敬意を表した動作にちなむ言葉です。自然の恵み、生き物の命をもらうことへの感謝を表します。

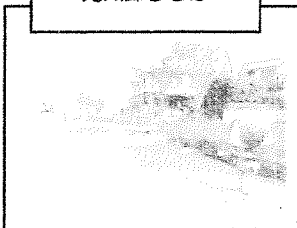
ごちそうさま

「ちそう（馳走）」は、食事を用意するために走り回ることを意味しており、この食事ができあがるまでに関わった人々への感謝の気持ちが込められています。

水木マンガの生まれた街 調布

「ゲゲゲの鬼太郎」の作者である漫画家・水木しげるさんは、調布市の名譽市民です。鳥取県境港市で育ち、昭和34年から93歳で亡くなるまでの56年間を調布市で過ごしました。

鬼太郎ひろば



調布駅～西調布駅間にある「鬼太郎ひろば」が市民の憩いの場となっているほか、市内を走るミニバスやマンホールにも、鬼太郎とその仲間たちが描かれています。

調布市では、水木しげるさんの功績を称え命日である11月30日を「ゲゲゲ忌」とし、様々な催しが行われています。本校では、水木さんの出身地鳥取県の飛び魚のすり身を使った「飛び魚バーグ」を献立に取り入れました。

お願い

調和小学校では、給食の配食時は衛生管理の為、全員マスクをすることになっています。毎日清潔なマスクをお持たせください。また、予備のマスクをランドセルに入れておいてください。